

公民館だより2月号



発行/大詫間公民館

大詫間の人口(令和7年12月末現在)
1,407人(前月比-5) 559世帯(前月比+1)
男 712人(前月比-2) 女 695人(前月比-3)

〒840-2211
佐賀市川副町大字大詫間 560 番地 1
電話・FAX 0952-45-4480
Email koodakuma@city.saga.lg.jp

主催事業 地域・学びのサポート⑪

手の痛み・しびれ について

痛みの原因とその対策
について話を聞いて健
康づくりに活かしてみま
せんか？



日 時 2月12日(木) 10:00~11:30
場 所 大詫間公民館 大会議室
講 師 佐賀中部病院整形外科診療部長
中島 武馬 氏
参加費 無料
お申込 申込不要です

大詫間小学校150周年記念誌 が配布されます

大詫間小学校創立150周年
記念誌と記念品が各戸に配布
されます。懐かしい思い出や、
小学校の歴史を感じられること
でしょう。



大詫間小学校創立150周年記念事業実行委員会

予告 大詫間 絆ウォーク

3月14日(土)開催決定

詳しくは後日各戸配布されるチラシをご覧ください



2月予定表

※予定は変更・中止する場合があります

日	月	火	水	木	金	土
1	2 元気アップ教室 まち協本部役員会	3 にこにこ運動教室 夢の島プロジェクト ブーカス号 14:00~14:50	4 ものの会	5	6 健康麻雀	7
8	9 元気アップ教室	10 にこにこ運動教室	11 【建国記念の日】 GB 愛好会 つばき会	12 地域・学びのサ ポート ときわ会	13 自治会長会 健康麻雀	14 ブーカス号 15:10~16:00
15 【休館日】	16 GG 役員会 元気アップ教室	17 にこにこ運動教室	18 GG 愛好会	19	20 健康麻雀	21 食改協
22	23 【天皇誕生日】	24 にこにこ運動教室	25 つばき会 健康福祉部会	26 スマホ教室	27 健康麻雀	28 さつき会

公民館主催・共催事業と地域行事等のご報告

地域・学びのサポート

1月8日(木)に第10回目を開催しました。

今回は、「股関節・膝関節の痛みについて」をテーマに佐賀中部病院整形外科診療部長の中島武馬先生に股関節や膝関節の痛みの原因や予防するための生活習慣などについてお話しいただきました。

また、体への負担の少ない最新の治療法について説明があり、参加者は「今はそんな方法があるのか」と医療の進歩に驚かれています。

「普段から悩んでいたけれど病院に行くほどではないだろうと思っていたから良い機会だった」との感想をいただき、講座終了後に個別に質問される方も多く見られました。



パソコン・スマホ なんでも相談

1月22日(木)に開催しました。シニア情報生活アドバイザー佐賀の皆さんにご協力いただき、わからない所や普段使っていて困っていることなどをマンツーマンで教わりました。

いつも使っているパソコンやスマートフォンと一緒に動かしながら、困っている事を解決することができました。

参加者の皆さんは、「パソコンのバージョンアップやスマートフォンの機種変更でわからない所が出てきたので助かった」「興味があったアプリの使い方がわかって良かった」と言われ、喜ばれていたようです。



大詫間新春初笑い

大詫間まちづくり協議会健康福祉部会主催

1月12日(月・祝)に第7回目の「大詫間新春初笑い」が開催されました。漫談や落語でいっぱい笑った後は、食改協さんのぜんざいやふれあい農園のふかし芋のふるまいあり、お楽しみ抽選会もあり楽しい時間でした。たくさん笑って今年一年を元気に楽しく過ごしましょう！



ちびり家笑酔さんの「南京玉すだれ」、参加者チャレンジは見事成功！



緑の小路さん酔さんの落語では、笑い涙の人情噺に夢中になりました。



温かいぜんざいとふかし芋は大変喜ばれました。



抽選会は当たり番号が読まれる度に会場は大盛り上がりでした。

大詫間小学校駅伝大会

1月23日(金)に開催されました。全校生徒縦割りで4つのチームに分かれ、小学校周辺800メートルの距離を走ってタスキを渡します。子ども達は保護者や地域の声援を受けながら一生懸命走っていました。



地域の方から大詫間への想いや小さい頃の思い出などをお寄せいただく『私と大詫間』シリーズです。



第58回目は…
江頭 和江さん
(8区)

大詫間生まれの団塊世代です。その頃の大詫間小学校は、1学年の生徒数は90名で1クラス45名でした。現在の全校生徒数は約70名と聞いています。昔の1学年の生徒数が今の全校生徒数より多かったことにあらためて驚きです。

昭和30年代は、近所の子供が大勢いて、男の子はビー玉やペチャ(めんこ)、女の子ははじきやゴム飛びなどをして遊んでいました。夕方になると家の中の土間を掃いたり、五衛門風呂だったので、水を入れるのを姉妹で手伝っていました。亡祖父がむっとー(むつごろう)を獲てくると、亡祖母が七輪で焼いてくれて、家族で食べていました。

今、公民館だよりの寄稿を書きながら、あの頃の出来事や気持ちがいろいろ思い起こされ、なつかしさで一杯です。高校卒業後3年余り家を出て会社勤めをしていましたが、家庭の事情と親の勧めもあって、家の農業を手伝うことになりました。

ちょうど、その頃大詫間では、圃場整備がされていて、道幅やクレークも広くなり、田んぼの水管理なども楽になったと思います。これも先人達のおかげだと思います。その頃から、耕運機は乗用トラクターへと変わり、田植え機やコンバインなど性能の高い機械が入るようになって、大詫間の農業も様変わりしたようです。その農業も令和になり辞めました。今は狭い畑で少しばかりの野菜を育てています。また、味噌作りも教えてもらいながらやっています。

運動の為、グラウンドゴルフ愛好会に入会しました。皆さんから声をかけてもらったり、アドバイスをしてもらったりで楽しんでいます。また、公民館で開催される講座や行事、特にときわ会の研修(続けられるのは、先輩方のおかげで感謝です。)は勉強にもなります。

これからも体が続く限り色々な行事や催しに参加していきたいです。大詫間も人口減少や高齢化が進んでいますが、自然や浮立など昔からの行事が後世に残せたらいいと思います。

市内の各公民館で 開催予定

携帯会社が優しく教えてくれる！ 公民館スマホ教室～キャッシュレススマホ決済まで

スマホ決済などの便利な機能に興味はあるけれど、何だか不安…そんな悩みを解消しませんか？

- 対象 佐賀市内にお住まいの方
- 参加料 無料 ※スマホの貸出し等あり。
- 実施期間及び場所 佐賀市内の各市立公民館
各公民館での実施日時や詳しい内容等は、佐賀市のホームページや各校区の『つながるさがし』で案内します。
- 講座内容(予定)

・ガラケーとスマホの違い ・スマホの楽しみ方
・マップ、カメラ他 ・スマホ決済、QR コード
※講座内容は一部変更となる場合があります
のでご了承ください。



参加者募集

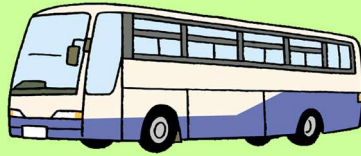
公民館スマホ教室 【大詫間会場】

日 時 2月26日(木)
10:00～11:30
場 所 大詫間公民館 大会議室
参加料 無料(スマホ貸出し等あり)
講 師 ソフトバンク株式会社
申込み 大詫間公民館まで直接または
お電話(45-4480)にて受付
いたします

シルバーパス券販売

パス券を利用すれば1乗車につき100円で乗車できます。パス券購入の個人負担は市営バス1,000円です。

※昭和バス分は佐賀駅
バスセンターで販売
いたします



開催日 **3月11日(水)**
時 間 **13:30~16:00**
場 所 **大詫間公民館 小会議室**
対象者 **市内在住70歳以上の方**

市税の納付は、あんしん・確実な 口座振替がおすすめです！

〈口座振替ができる市税〉

市県民税(普通徴収)、固定資産税・都市計画税、
軽自動車税(種別割)、国民健康保険税

＜申込方法＞

■Web口座振替受付サービス

<https://www.city.saga.lg.jp/main/93373.html>
ご自宅や外出先からスマホなどで簡単にお手続き
ができます。

■書面での申し込み

預貯金口座のある市内の金融機関、市役所納税課
(本庁3階)

【問い合わせ】

佐賀市役所 納税課 収納係
TEL 40-7075 FAX 25-5408



佐賀市からの
おしらせ

市・県民税の申告受付について

川副地区会場 南川副公民館

申告受付期間 **3月3日(火)～3月5日(木) 9:30～15:00**

確定申告の受付はできません。確定申告が必要な方は佐賀税務署で申告してください

【お問合せ先】

佐賀市役所市民税課
電話 40-7062

館長コラム

先日、かかりつけのお医者さんから「70歳代に入ると体調に大きな変化が出てくることがあるので注意してください」と言われました。今度誕生日がきたら古希(古稀)ということになります。▶古希は中国の詩の一節で「人生を70歳まで生きるのは非常に稀なこと」からきています。人生100年時代という言葉を目にしますが、戦後間もない頃の平均寿命は55歳以下、昔の70歳は長生きの年齢でした。▶定年からもうすぐ10年、現役時の付き合いも少なくなり、風貌はもちろん気分も消え失せ、いよいよかという心境です。▶古代中国では人生を四季にたとえ、色をつけて表現しました。春は青で若さと希望に満ちて新しいことに挑戦する「青春」、夏は朱(赤)で活気にあふれ社会の中心で活躍していく「朱夏」、秋は白で人間的に深みが増して人生の実りを楽しむ「白秋」、冬は玄(黒)で人生の終盤期にあたり経験や知識を次世代に引き継いでいく「玄冬」です。▶玄冬が最も年齢が上ということなので、これから冬ということになりますが、生まれてから幼少までは人として芽吹く前の時期であり、未来の見えない暗闇の中のようなものなので、人生のスタートは「玄冬」からだという考えもあるようです。▶人生の順番が春夏秋冬か冬春夏秋か、どちらに転んでも人生の最終段階であることに変わりありません。それでも青春、朱夏とまではいかなくても、新鮮で少し刺激のある日々を過ごしていきたいものです。▶古希祝いの贈り物では葬式や弔事に用いられる品や寝付くことを連想させる寝具等は避けるとされています。他にも現金や商品券は年上には失礼にあたるとされていますが、自分は失礼とはまったく思いませんので…。現金・商品券は大歓迎です。